学校番号	414

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編 数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	３ＴＲＩＡＬ　数学Ｃ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

ベクトル，平面上の曲線と複素数平面について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　ベクトルとその演算	第1節　ベクトルとその演算 1　ベクトル 2　ベクトルの演算(2．5) 3　ベクトルの成分(2) 4　ベクトルの内席	a：有向線分を用いたベクトルの定義や表し方を理解している。また、ベクトルの相等や逆ベクトルの定義を理解し，図の中から探すことができる。 b：点の座標とベクトルの成分の関係を，座標平面上の図形の問題に活用できる。 c：成分表示されたベクトルの演算法則を，ベクトルの演算法則から導き出そうとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第2節　ベクトルの図形への応用(2．5) 1　位置ベクトル 2　ベクトルの図形への応用 3　図形のベクトルによる表示(2.5)	a：点の位置を，基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解している。 b：位置ベクトルを活用して，図形の性質が考察できる。 c：様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第3節　ベクトルと空間 1　空間の点 2．空間のベクトル(1) 3．ベクトルの成分(1.5) 4．ベクトルの内積(1.5) 5．ベクトルの図形への応用(2) 6．座標空間における図形(2)	a：空間における点の表し方を理解し，座標平面や座標軸，原点に関して対称な点の座標を求めることができる。 b：空間のベクトルが 3 つのベクトルの線形和で 1 通りに表される理由について，平面上のベクトルが 2 つのベクトルの線形和で 1 通りに表されることから説明できる。 c：座標平面上の図形の方程式について改めて正しく理解し，座標空間についても同じ考え方で図形の方程式について考察しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

2学期	第2章 複素数平面	第1節 複素数平面 1. 複素数平面(3) 2. 複素数の極形式(3) 3. ド・モアブルの定理(2) 4. 複素数と図形(4)	a: 1 つの複素数が複素数平面上で 1 つの点を表すことを理解し，点を複素数平面上に表すことができる。 b: 複素数の絶対値の定義および図形的意味を理解し，説明できる。 c: 複素数平面の定義から，複素数の和，差や実数倍が複素数平面上で何を意味するか自ら考察しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
	第3章 2次曲線	第2節 2 次曲線 1. 放物線(1) 2. 楕円(3) 3. 双曲線(3) 4. 2 次曲線の平行移動(2) 5. 2 次曲線と直線(2)	a: 放物線が，焦点と準線からの距離が等しい点の軌跡であることを理解している。 b: 軌跡の考え方を用いて，放物線の方程式を導くことができる。 c: 既知の円や放物線などの曲線を，条件を満たす点の軌跡として捉えなおそうとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
	第4章 媒介変数表示と極座標	第 2 節 媒介変数表示と極座標 1. 曲線の媒介変数表示(4) 2. 極座標と極方程式(4) 3. コンピュータの利用(1)	a: 曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解している。 b: 条件から点の座標を 1 つの文字で表し，それを曲線の媒介変数表示と捉えることで，その点が描く曲線を求めることができる。 c: 曲線の媒介変数表示について，具体的に点をプロットしていくことで，どのような曲線か考察しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
3学期	第3章 データ	1．データの表現方法の工夫（4） 2．行列による表現（7） 3. 離散グラフによる表現(5) 4．離散グラフと行列の対応(4)	a: データをパレート図に表現する方法を理解し，パレート図をかくことができる。 b: 日常の事象や社会の事象などを行列で表現する意義を理解し，行列で表現したり，行列やその計算結果からその意味を読み取ったりできる。 c: データを表現するのに様々な方法があることに興味をもち，データの特徴や表現したいことに応じて，方法を検討しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度